

教育委員会会議録（9月定例会）

日 時

平成25年9月27日（金）
午後3時00分から午後3時50分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	花田 和郎
委員長職務代行者	伊藤 吾子
委 員	森嶋 鎮一郎
委 員	上村 由美
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

教育部長	作間 忍
総務課長	窪田 康徳
学校施設課長	関根 博之
学務課長	大友 正徳
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	齋藤 淳
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	内山 信弘
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長	大竹 勉
教育研究所長	大沢 靖司
視聴覚センター所長	鈴木 士郎
宮田調理場長	鈴木 伸之
企画員	松永 朗
総務課副参事(兼)庶務係長	川崎 浩行
総務課課長補佐(兼)計画財務係長	滑川 達也
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

2 その他

- (1) 平成 25 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 平成 26 年度日立市立幼稚園の園児募集について
- (3) 百年塾フェスタ 2013 について
- (4) 中学生海外短期留学支援事業の実施結果について
- (5) その他
- (6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、定刻となりましたので、只今から9月の教育委員会定例会を開催します。

今月の定例会の傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 9 号

教育委員会8月定例会の会議録について

委 員 長

報告第9号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 そ の 他

(1) 平成25年第3回市議会定例会について

委 員 長

続きまして、その他に移らせていただきます。

その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長

平成25年第3回市議会定例会について、報告します。

会期は、平成25年9月5日から9月30日までとなります。

一般質問のうち、教育委員会関係については、7名の議員から質問がありました。

まず、公明党の添田議員からは、学校運営施策についてということで、学校給食費の公会計化について、2点質問がありました。

1点目は、本市の学校給食費の未納者数と未納額、それらの対応についてです。

2点目は、学校給食費の公会計化についてです。

現在、日立市の給食費については、学校給食会が管理する私会計で行っています。公会計化というのは、給食費を、市の一般会計として取り扱うことをいいます。その徴収方法としては、市が直接徴収するものと、学校が徴収するものがありますが、今回の公会計化に関しては、前者の方法を指します。これによって、教員の負担が

減るのではないかという提案です。

質問に対してですが、まず、平成24年度の未納者数は、小中学校合わせて約150人で、全生徒数に占める割合は約1%であり、未納額は約350万円で、年間給食費総額の約0.5%となっています。未納者への徴収対応については、子どもたちに十分配慮しながら、電話や文書による督促、家庭訪問などに加え、経済的に困窮している世帯に対しては、要保護・準要保護の制度案内や説明を行うなどの対応をしています。学校給食費の公会計化については、公会計を実施している自治体の実態を更に調査し、今後の課題として検討していきます。

また、学校施設開放事業についての質問も3点ありました。

1点目は、利用団体間の公平性を保つため、どのような運営方法をとっているかです。

2点目は、施設開放利用時に、施設を破損した場合等への対応についてです。

3点目は、休日や夜間開放時に事故が起きた場合のAED使用についてです。

まず、1点目の質問に対してですが、学校施設開放事業は、学校のグラウンドや体育館などを学校教育に支障のない範囲で開放するもので、事前に登録された地域のスポーツ団体に利用されています。利用日については、年度当初、学校ごとに団体の代表者を集めた運営委員会を開催し、話し合いにより調整し、希望日が重複した場合には、抽選や共同使用などの対応をしています。こういった方法が合理的であり、公平性があるものと考えています。

2点目の質問に対してですが、修繕については、原則として、利用団体に行っていただいています。

3点目の質問に対してですが、AEDは、職員が常時待機している職員室や治療器具等が揃う保健室に設置していますので、職員不在時にAEDを必要とする事故が発生した場合は、人命救助を最優先し、施設の窓ガラスを割って、AEDを取り出していただくことも止むを得ないと考えています。

さらに、行政の新たな取組についてということで、シニア層の社会参加促進について質問がありました。

内容としては、シニア層に、地域の中で生きがいを持つきっかけをつくるため、日立市合同還暦式を行ってはどうかという提案です。

これに対してですが、今後は、高齢化が進む中で、シニア世代の豊富な知識や経験を、活力ある成熟したまちづくりの貴重な資源にするとともに、ひいては、百年塾をはじめとした各種関係団体等の貴重な人材確保にもつながるものであるため、「還暦式」についての検討と併せ、広く社会参加促進につながるような更なる事業展開

について、百年塾推進本部をはじめ、関係団体に対し働きかけを行っていきたいと考えています。

ひたち未来の檜村議員からは、日立市・十王町新市建設計画についてということで、学校施設機能の向上の主な事業において、小中学校の大規模改修、改築又は建替えでは山部小学校が、体育館、運動場、プールの改修では十王中学校が明記されていますが、その取組状況について質問がありました。

これに対してですが、学校施設整備については、平成20年度に策定した学校施設整備計画に基づき、計画的に校舎及び体育館の整備推進を図っているところで、現在は、水木小学校、助川中学校、油繩子小学校の校舎を対象に改築及び大規模改造を進めており、また、小・中・特別支援学校25校の校舎を対象に、集中的に耐震補強工事を進めています。山部小学校の木造校舎については、改築等の対象としていますが、小・中・特別支援学校の耐震補強工事が完了してから、事業化に向けた検討に入っていきたいと考えています。十王中学校の体育館については、現在の体育館の位置が土砂災害警戒区域、いわゆるイエローゾーンに含まれていますので、現在の位置で耐震化を図っても避難所として位置づけることは難しい状況でありますので、これらの課題への対応についてさらに検討を進め、事業化のタイミングを測っていきたいと考えています。

ひたち未来の伊藤議員からは、災害対策についてということで、学校と地域の総合的な災害対策について、質問がありました。

質問の内容としては、今年度、学校と地域の連携による防災訓練の推進を、前年度の実績を踏まえ、どのように進めていくのか、というものです。

これに対してですが、茨城県では、昨年度から、地域との連携による学校防災強化推進事業として、学校、地域、家庭との連携による避難訓練の推進などに取り組んでいます。本市においても、学校防災連絡会議を全ての学校に設置し、学区コミュニティの協力を得て、避難訓練や防災教室などを実施しています。さらに、昨年度は、東小沢小学校が県のモデル校として、在校時における津波避難を研究したところでした。そういったことについて、より一層学区コミュニティとの協力体制を図りながら、防災教室を実施しています。なお、今年度は県のモデル校として、豊浦小学校が、下校時における津波避難をテーマに取り組むこととしています。

民主クラブの吉田議員からは、学校施設に関する管理運営についてということで、資機材のストック方法と融通システムの導入について、質問がありました。

質問の内容としては、資機材について、使用可能で使われていない在庫があると思うが、それらをデータベースとして集約し、学校間で融通して資機材を有効活用できるようにシステム化してはど

うか、というものです。

これに対してですが、学校における備品については、大量購入することにより価格の低減や事務の軽減が期待できますので、学校から要望のある教授用備品の楽器や教材、あるいは校用備品の印刷機や冷蔵庫などで、種類や規格等が同様であれば、一括して購入し、各校に配置しています。これらの備品をストックすることについては、限られた予算の中で、各学校において必要性和優先性を勘案しながら購入していることから、ストックをあらかじめ確保することは難しいのが現状です。融通システムの導入については、現在のところ、使用可能でありながら使われない備品が発生するのが、改築等の場合に限られていますので、教育委員会が関与して再配置ができていない状況だということを伝えました。

日立市政クラブの黒澤議員からは、グラウンドゴルフの普及について、3点質問がありました。

1点目は、日頃使用している地域の広場などの拡張や整備、競技普及についての支援体制についてです。

2点目は、今後の県大会規模の大会誘致についてです。

3点目は、ターゲットバードゴルフコースとの共用についてです。

まず、1点目の質問に対してですが、地域の広場などの拡張や整備は、用地や財源の確保の面からも課題が多いと考えていますが、今後、有効な方策について、関係課と協議を進め、検討していきたいと考えています。

2点目の質問に対してですが、市民運動公園陸上競技場など、現有施設での大会の誘致、開催は、可能なものと考えています。大会の開催に当たっては、会場の提供など協力していきたいと考えています。

3点目の質問に対してですが、共用が可能であれば、より一層の有効活用が図られるものと考えています。

民主クラブの白石議員からは、特別支援学校についてということで、日立特別支援学校の教室の確保について、質問がありました。

これに対してですが、教室不足への対応としては、図書室等の特別教室を、代替を確保しながら普通教室へ転用することや、一つの普通教室に間仕切りを設置して、教室を二つに分けることなどを行っています。また、隣接する多賀中学校の協力を得て、校舎1階の2つの教室を借用し、高等部の作業学習室として活用しているところです。今後、県立の県北地区特別支援学校が常陸太田市に開設されますので、その動向を見ながらの対応となりますが、教室不足を解消できない状況になりそうなときには、仮設校舎建設等について検討したいと考えています。

ひたち未来の蛭田議員からは、泳げない子供への対策についてと

ということで、今年度事業の結果と対策について、質問がありました。

この質問は、昨年度も同様にあったもので、昨年度からの取組状況について、報告してほしいということでした。

これに対してですが、今年の8月末に実施した泳力等に関する調査によると、今年度、体育の時間に、小学校は9.3時間、中学校は7.4時間の水泳の授業を実施しています。25m以上泳げる児童・生徒は、小学校6年生では45%、中学校3年生では62%です。水泳は、意義の深いものですので、全員が25mを泳げるよう、水泳学習の充実を図っていく必要があると考えています。また、指導法研修会については、7月30日に、日高小学校のプールで、若い教員を中心に、「児童生徒に25mを泳ぐ力を身に付けさせるための指導法」というテーマで開催しました。水泳教室や施設開放の働きかけについてですが、今年の夏季休業中に水泳教室を実施した学校は、小学校9校、中学校1校、子ども会や地域等に施設を開放した学校は、小学校20校でした。昨年度と比較すると、水泳教室は6校の増加、施設開放は5校の増加となっています。今後は、水泳の指導についても、関係機関や地域の方々をはじめ、保護者や教育ボランティアの協力を得て、指導者の数を増やし、子供たちの水泳指導に当たることができるよう、各校に働きかけていきたいと考えています。

また、夏休み学校プール開放の実状と今後についても、質問がありました。

質問の内容としては、夏休み期間中に多賀・南部地区の小学校プールの開放事業を実施しましたが、どのような仕組みで実施し、今後の方向性について、どのように考えているのかを伺いたいというものです。

これに対してですが、夏休みの学校プールの開放については、かねさわ市民プールの廃止、久慈サンピア日立プールの休業に伴い、多賀・南部地区の子どもたちのために、実施しているものです。今年度は、7月22日から8月1日にかけて、河原子、大沼、大みか、久慈、塙山の5つの小学校で実施し、8日間の開放で延べ941人の利用がありました。運営については、河原子、大沼、大みか、久慈の4校を、警備会社に委託して、塙山小学校を、塙山総合型地域スポーツクラブの協力の下、市の直営で実施したところです。この事業は、必要性の高い事業であると認識していますので、来年度も、多賀地区を中心に、実施していきたいと考えています。

次に、教育福祉委員会についてですが、今回は、3件の議案と2件の報告がありまして、委員会の中では、全ての議案が承認されました。

教育福祉委員協議会については、2件の案件について、説明しました。

委員 給食費の月額はどのくらいですか。

宮田調理場長 中学校が4,460円で、小学校が3,840円です。8月を除いて、毎月振り込んでいただいています。

委員 議員のおっしゃる公会計化というのは、口座引き落としにするということですか。

宮田調理場長 市と保護者が契約して、市の口座に直接振り込んでもらってはどうか、ということです。

これまでの私会計では、学校と保護者が直接契約して、給食会が学校から集めるというものです。公会計化には、学校が保護者から集めた給食費を、市に振り込むものと、保護者が直接市に振り込むものがありますが、議員がおっしゃっているのは、保護者が直接市に振り込む公会計化のことです。

教育部長 これまでは、学校が、保護者から集めた給食費を給食会に振り込んでいますが、公会計化にすることで、市が直接給食費を集めることとなり、学校が介入しないので、教員の負担が減ります。その分の時間で、教員が子どもたちと関わる時間が増えるだろうということです。

委員 未納者数の割合が約1%とのことですが、教員の負担は相当あるのではないのでしょうか。

学務課長 学校では、給食費を、金融機関を指定して、口座引き落としにより徴収しています。未納であった場合には、金融機関から情報提供されますので、その情報をもとに、まずは、未納者に対して通知を出します。それでも未納が続く場合には、分割しながら、少しずつでも納めていただくよう、再度通知をしていきます。そのため、未納が続けば続くほど、通知する機会が増え、その分教員の負担は増えていきます。

委員 未納額は約350万円とのことですが、傾向としては増えているのですか。

学務課長 ほぼ横ばいの状況です。

委員 年度ごとに未納額は処理しているのですか。それとも、累積されるのですか。

教 育 長 基本的には累積されますので、未納のまま卒業を迎える場合もあります。

公会計の場合、未納が続けば不納欠損となりますので、それも私会計との違いになります。

宮田調理場長 前年度分が、翌年度に支払われることもあります。

委 員 未納額が約350万円といっても、翌年度以降に額が減っていくこともあるということですか。

宮田調理場長 そのとおりです。約350万円という数字には、翌年度に支払われた額が反映されていません。

(2) 平成26年度日立市立幼稚園の園児募集について

委 員 長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 平成26年度の日立市立幼稚園の園児を募集します。

各園、4歳児、5歳児を募集しますが、5歳児については、現在の4歳児の定員に満たない人数分を募集します。

会瀬幼稚園については、混合保育のため、4歳児、5歳児を合わせて15名募集します。

宮田幼稚園については、平成26年度から、みやた保育園と一緒に学校教育と保育を行う、認定こども園に変わりますので、昨年度と同様に、20名の募集となります。

認定こども園になることによる大きな変更点として、主な費用面があります。授業料は、他園と同額の月額6,800円となりますが、認定こども園では給食が提供されますので、給食費として、月額3,930円を徴収する予定です。また、一時保育として、1時間当たり220円で、平日、土曜日、長期休業期間などに預けることができるようになります。

願書の受付は、11月1日と11月5日の2日間に行います。

知的障害児・情緒障害児学級幼稚部への入級志望者に対しては、専用の応募案内をお渡しして、指導形態が通級制度となることを説明します。これは、在籍する幼稚園から、本学級が設置されている中小路幼稚園と大沼幼稚園に週に数回通級する制度です。

委 員 5歳からの入園を希望する児童数は、どのぐらいになるのです

か。

- 学務課長 なかなか定員に達するまでの応募はありません。
ただし、大沼幼稚園については、すでにほぼ定員に達しています。
- 委員 宮田幼稚園の5歳児の募集は1名となっていますが、それ以上に
応募があった場合はどのようにするのですか。
- 学務課長 保育園側との人数の兼ね合いもありますので、1名を超えて応募
があった場合は、他園と同様に抽選を行います。
- 委員 学区間で不公平感が出てしまうのが、不安な気もします。
それから、知的障害児・情緒障害児学級幼稚部を希望する場合は、
希望する幼稚園と本学級のある幼稚園の2園に対して願書を提出
するのですか。
- 学務課長 まず希望する幼稚園に応募していただき、その中で、必要な場合
には、中小路幼稚園と大沼幼稚園に通級することとなります。
- 委員 通級は、親が判断するのですか。
- 学務課長 就学指導の者が関わって、相談を受けながら判断します。
- 委員 昨年度、抽選を行った園はありますか。
- 学務課長 ありません。
- 委員 ここ数年、抽選がないような状態ですか。
- 学務課長 大沼幼稚園は、預かり保育や特別支援学級などの特色があります
ので、抽選を行ったことがあります。
- 委員 幼稚園の定員数については、幼児施設設置協議会において、先を
見通して、よく審議していただければと思います。
- 委員 認定こども園の給食費が小学校より高く設定されているのは、小
学生と幼稚園児では、食べる量も人数も違うので、その辺りの差も
あるかとは思いますが、内容的に手間がかかるからということなの
でしょうか。
- 学務課長 給食は、学校分を調理している学校給食共同調理場ではなく、園

の中で直接調理を行いますので、使う食材の調達量が少ない分、コストがかかるということがあります。ただ、その分調理場よりも細やかなアレルギー対策を行えます。

(3) 百年塾フェスタ2013について

委員長 それでは次に、その他(3)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 百年塾フェスタ2013の開催について、説明します。

百年塾フェスタは、今回で22回目となります。

今年は、「遊んで、学んで、ひたちの“いいね”」をテーマに掲げ、平成25年10月6日、日曜日の10時から16時まで、シビックセンター、新都市広場、マーブルホール、パティオモール周辺を会場として実施します。

内容としては、日立市民公募による写真展である「日立よいまち・絵になるまち写真展」や、8つのコミュニティが地域自慢をPRする「コミュニティの“いいね”」などの新企画をはじめ、各種イベントを行います。

(4) 中学生海外短期留学支援事業の実施結果について

委員長 それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 中学生海外短期留学支援事業の実施結果について、報告します。

実施の経過としましては、まず、平成25年2月に募集パンフレットを、市内小学6年生、市内中学生、日立第一高校付属中学生、茨城キリスト学園中学1年生、2年生に配布しました。そのうち、実際に留学することとなったのは、1年生が3名、2年生が5名、3年生が1名の、合計9名でした。

5月に開講式を開いて、その後、事前研修を行っていき、実際に出発したのは7月26日です。

7月29日から9月5日まで海外の学校に短期留学し、その間、生徒は一人ずつ、ホスト宅へホームステイしました。

帰国は9月7日で、9月21日には、帰国報告会を開催しました。

報告会で、留学した生徒からは、「言葉や文化、生活習慣の違いなど様々なことを学ぶことができた」、「最初は自然なスピードの英語に不安をもっていたが、途中からコミュニケーションがうまく取れるようになっていった」、「日本を離れての44日間の留学生生活を

やり遂げたという達成感と自信をもてた」などの感想がありました。

今回の事業では、現地担当のレッツホームステイの職員が、保護者、教育委員会に情報提供したことで、現在の様子と留学生一人一人の状況をタイムリーに確認することができ、必要な対応を迅速にとることができました。

懸案事項としては、保護者が熱心であるのに対して、生徒たちの中には、この機会を生かして何をしようとするのかという考えや、経験を積んでこようというモチベーションを持ってない生徒もいることです。今後は、事前研修の在り方や、留学生の選考方法等の検討等も必要になってくるかと思えます。

委員 多感な時期に、海外で直接いろいろな体験をできますので、お金はかかりますけど、とてもいい企画だと思います。

ただ、小学6年生も対象になっているなら、もう少し6年生にも体験させてあげられればと思います。

委員 保護者と子どもの意識にギャップがないように、多少時間をかけてでも、人選していくことも大事だと思います。

委員 自己負担額がわりとかかるので、ある程度親の経済力がないと、申し込めないのかなと思います。

親の経済力とモチベーションがあっても、本人にモチベーションがない子どもと、本人にモチベーションがあっても、経済的に難しいという子どもとでは、やはり後者に行かせてあげたいという思いがあります。

そういった子どもたちをどうしていくかという課題もあると思います。

委員 中学生の時に諸外国に行って、直接その国の言葉や文化に触れることで、人生観が変わるのではないかと思います。できれば、中学生の多くにそういった体験をしてもらいたいという気持ちが強いので、参加者が9名というのは、ちょっと少ないという気がします。

可能ならば、3日でも4日でもいいので、全員に体験させてあげたいという思いです。

ただ、どの中学校でも部活動は盛んですので、夏休み中に留学するか部活動をがんばるかということ、天秤にかけるとは思いません。そういった意味でも、行きたくても海外に行きにくいということもあるのではないかと思います。

(5) その他

委員 長 それでは、その他で、ほかにある方はいらっしゃいますでしょうか。

ス ポ ー ツ スポ・レクフェア2013の開催について、説明します。
振 興 課 長 10月13日、日曜日の10時から、市民運動公園野球場で開催
 します。
 今年は新たに、トレッキング、ロードバイク、クライミングの講習会、物品展示のイベントが加わっていますので、市民の方々に楽しんでいただければと思っています。

委 員 一番心配なのは駐車場ですが、どのようにされるのですか。

ス ポ ー ツ 野球場の駐車場に加え、臨時駐車場を2箇所用意しています。
振 興 課 長

委 員 体育館があった場所は、解体工事が終わって平地になっていると思うのですが、そこは駐車場として使用できないでしょうか。

新 体 育 館 外構工事が始まりますので、申し訳ありませんが、使用できませ
建 設 課 長 ん。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委 員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 平成25年10月25日、金曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

4 閉 会 午後3時50分

委 員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会9月定例会を終了いたします。